

新国立劇場 2026/2027 シーズンオペラ

W.A.モーツァルト
フィガロの結婚

Le Nozze di Figaro / Wolfgang Amadeus Mozart

2026年12月6日(日)～ 12月12日(土)

会場:新国立劇場オペラパレス 2026年9月12日(土) 10:00～ 前売開始



令和8年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業により
**18歳以下122名様
ご招待！**

新国立劇場で
心豊かな芸術体験を



2013年公演より 撮影:三枝近志

結婚をめぐる愛の大騒動！モーツァルト屈指の名作『フィガロの結婚』

フィガロとスザンナの結婚をめぐる一日の騒動が描かれた、モーツァルト不朽の名作。有名な序曲に始まり、おなじみの「恋とはどんなものかしら」(ケルビーノ)、「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」(フィガロ)など思わず口ずさみたくなるような名曲に彩られます。

アンドレアス・ホモキの演出では、モーツァルトの進取の精神そのままに、ピュアな人間性が生き活きと描き出されます。比類ない完成度の舞台で、新国立劇場の看板演目のひとつです。

阪哲朗指揮のもと旬の実力派歌手が勢揃い。阪自らのチェンバロで舞台をリード！

指揮は日本屈指のオペラ指揮者・阪哲朗。阪みずからレチタティーヴォの伴奏チェンバロを演奏し、舞台とオーケストラの更なる融合を図ります。キャストには、木村善明(フィガロ)、須藤慎吾(アルマヴィーヴァ伯爵)、吉田珠代(伯爵夫人)、九嶋香奈枝(スザンナ)、山下裕賀(ケルビーノ)ら、旬の実力派日本人歌手が勢揃い。名人芸と、息のあったアンサンブルをお楽しみください。

< 資料のご請求、取材のお問い合わせ >

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当: 高梨木綿子

Tel: 03-5352-5733 / Fax: 03-5352-5709 / E-Mail: takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

世界中で愛されるモーツァルト永遠の名作『フィガロの結婚』



フィガロとスザンナの結婚をめぐる一日の騒動が描かれた、モーツァルト不朽の名作。単独で演奏されることも多い軽快な序曲に始まり、教科書でもおなじみの「恋とはどんなものかしら」(ケルビーノ)、「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」(フィガロ)、そしてソプラノの名曲「愛の神様、手をさしのべてください」「楽しい思い出はどこへ」(伯爵夫人)と、思わず口ずさみたくなるような音楽に彩られます。

現代最高のオペラ演出家のひとりアンドレアス・ホモキの演出では、モノトーンの舞台上を

登場人物が縦横無尽に動き回り、ドラマの進行とともに社会的秩序が取り払われて、プュアな人間性が生き生きと浮き彫りになります。演技は細部まで裏付けられ、丁々発止のやり取りがオペラを超えて演劇ファン、ミュージカルファンなどすべての舞台ファンを魅了すると大評判になりました。比類ない完成度の舞台として高く評価されている、新国立劇場の看板演目のひとつです。



待望のオール日本人キャスト！阪哲朗指揮・チェンバロのリードするアンサンブルが楽しみ！

今回は、指揮の阪哲朗みずからレチタティーヴォの伴奏チェンバロを演奏し、舞台とオーケストラのさらなる融合を図ります。作曲家・鍵盤奏者としても一流の実力を備える阪の創意工夫とコントロールの利いた音楽性が支える新国立劇場版『フィガロの結婚』がますます楽しみです。

キャストには日本の旬の歌手が勢揃い。フィガロ役は、ドイツで活躍し帰国したばかりで国内の活動に注目が集まる木村善明が新国立劇場デビュー。アルマヴィーヴァ伯爵は圧倒的スター歌手として活躍中の須藤慎吾。ドラマティックな役へも活躍が広がるソプラノ吉田珠代は、新国立劇場本公演では待望の主演級への出演です。そして、数々のスープレット役で人気を博し、スザンナがまさに“はまり役”の九嶋香奈枝、人気沸騰中のメゾソプラノ山下裕賀のズボン役ケルビーノと、オペラファンならば見逃せない配役です。



左上より阪哲朗、A.ホモキ、須藤慎吾、吉田珠代、木村善明、九嶋香奈枝、山下裕賀、中島郁子、妻屋秀和、青地英幸、水野優、晴雅彦

📺「フィガロの結婚」ダイジェスト映像

<https://youtu.be/FP1KGvfPovY?si=6pTgG0aLdwL5029F>

<あらすじ>

もと理髪師で今はアルマヴィーヴァ伯爵の召使いフィガロは、伯爵夫人の小間使いスザンナとの結婚を控えている。初夜権(召使いの結婚の際花婿に代わって初夜を共に出来る権利)をひとたび放棄したもののスザンナに気がある伯爵は、その復活を企む。一方、夫の冷めゆく愛を嘆く伯爵夫人は、フィガロ、スザンナと結託し、思春期の小姓ケルビーノを巻き込んで伯爵の鼻を明かそうと企む。スザンナに誘い出された伯爵はまんまと引っかかり、自身の非を認めて全員喜びの大団円となる。



令和8年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業により
**18歳以下122名様
ご招待！**

新国立劇場で
心豊かな芸術体験を

文化庁劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業により、
『フィガロの結婚』に小学生～18歳以下の方122名様をご招待します。

この絶好の機会に、モーツァルトの名作『フィガロの結婚』を、日本のオペラの殿堂・新国立劇場オペラパレスでぜひご体験ください。

【対象公演日】 2026年12月10日(木)18:00 *ご招待人数:計122名様

【受付期間】 2026年9月12日(土)～12月9日(水)

詳細はこちら https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_031383.html

<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】阪 哲朗

BAN Tetsuro

京都市立芸術大学作曲専修卒業後に渡欧。ウィーン国立音大指揮科在学中にビール市立歌劇場専属指揮者となり、ブラデンブルク歌劇場第1指揮者、コーミッシェオーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場並びにレーゲンスブルク歌劇場で音楽総監督を歴任。ウィーン・フォルクスオーパー、バーゼル歌劇場、シュトゥットガルト歌劇場などドイツ、オーストリアなどの約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を収める。日本国内においても多くのオーケストラやオペラ公演を指揮。全国共同制作オペラ『こうもり』、びわ湖ホール『ばらの騎士』で成功を収めたことが記憶に新しい。山形交響楽団とは2023年から演奏会形式オペラシリーズをスタートさせ、インターネット配信も行い新たなファンを獲得している。現在、山形交響楽団常任指揮者、びわ湖ホール芸術監督、京都市立芸術大学教授。東京藝術大学、国立音楽大学より特別招聘教授に招かれるなど、後進の指導にも取り組む。1995年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。2024年芸術選奨文部科学大臣賞ほか受賞多数。新国立劇場では『ホフマン物語』『カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師』、オペラ鑑賞教室『ドン・パスクワレ』『蝶々夫人』『ラ・ボエーム』を指揮している。



【演出】アンドレアス・ホモキ

Andreas HOMOKI

ドイツ・マール生まれ。ジュネーヴ大劇場 92/93 シーズン開幕の『影のない女』の演出で大成功を収める。その後、ハンブルク州立歌劇場『リゴレット』、デンマーク王立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』、バーゼル歌劇場『エレクトラ』、バイエルン州立歌劇場『アラベッツ』、オランダ国立オペラ『ルル』などヨーロッパを中心に活躍。02/03 シーズンからベルリン・コーミッシェオーパーの首席演出家に就任、『フィレンツェの悲劇』『金鶏』『マハゴニー市の興亡』『ハムレット』などを取り上げ話題となった。2012年エクサン・プロヴァンス音楽祭でのシャルバンティエ『ダビデとヨナタン』の洗練された演出で好評を博す。12/13 シーズンから24/25 シーズンまでチューリヒ歌劇場総監督を務める。日本では08年びわ湖ホール・神奈川県民ホール『ばらの騎士』などを手がけている。新国立劇場では『フィガロの結婚』『西部の娘』を演出している。



【アルマヴィーヴァ伯爵】須藤慎吾(バリトン)

SUDO Shingo

国立音楽大学卒業、同大学院修了。第42回日伊声楽コンクール第1位、オルヴィエート国際オペラコンクール2位(イタリア)などを受賞。1999年渡伊、各地の劇場にて『椿姫』ジェルモン、『リゴレット』タイトルロール、『オテロ』イアーゴ、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『トスカ』スカルピア、『カルメン』エスカミーリョなどに出演。2006年帰国し藤原歌劇団に入団。同団で『愛の妙薬』ベルコーレ、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵などに出演。新国立劇場では『椿姫』ドウフォール男爵/ジェルモン、『アンドレア・シェニエ』フーキエ・タンヴィル、『蝶々夫人』シャープレス、『ルチア』エンリーコ、『アイダ』アモナズロ、『リゴレット』モンテローネ伯爵、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『シモン・ボッカネグラ』ピエトロ、『ウィリアム・テル』ヴァルテル・フルスト、鑑賞教室『トスカ』スカルピア、鑑賞教室『カルメン』エスカミーリョなど主要な役で出演を重ねる。26/27 シーズンは『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『カヴァレリア・ルスティカーナ』アルフィオに出演予定。国立音楽大学非常勤講師、藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。



【伯爵夫人】吉田珠代(ソプラノ)

YOSHIDA Tamayo

愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第6期修了。ボローニャ、ミュンヘン、ウィーンで研鑽を積む。2010年オーストリア・シュタイヤー音楽祭にて『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナでヨーロッパデビュー。近年は、九州交響楽団『外套』(G.デスピノーサ指揮)ジョルジエッタ、東京・春・音楽祭『仮面舞踏会』アメーリア、同『シモン・ボッカネグラ』アメーリア、二期会『コジ・ファン・トゥッテ』(C.アルミンク指揮)フィオルディリージ等で活躍している。第6回静岡国際オペラコンクール最高位・三浦環賞、第12回岩城宏之音楽賞受賞。新国立劇場では高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演『蝶々夫人』タイトルロール、同『カルメン』ミカエラに出演。二期会会員。



【フィガロ】木村善明(バス・バリトン)

KIMURA Yoshiaki

東京藝術大学卒業、同大学院修了。博士号(音楽)取得。2007年に渡独。ドイツ、フランス、ベルギーで研鑽を積み、ドイツ国家演奏家資格取得。11年には、2年に1度ドイツで開催される若手オペラ歌手のための登竜門、バンベルク夏のフェスティバルにて『フィガロの結婚』タイトルロールに抜擢されヨーロッパデビュー。14年にはマンハイム歌劇場で同役を歌い、聴衆、メディア双方から高い評価を得た。14/15 シーズンから、ドイツ・ビーレフェルト歌劇場と専属歌手契約を結び、ソリストとして活躍。フィガロに加え『後宮からの逃走』オスミン、『セビリアの理髪師』バルトロ、ワーグナー『ラインの黄金』アルベリヒ、同『パルジファル』クリングゾル、グノー『ファウスト』メフィストフェレスなどバスからバス・バリトンの重要な役どころを任されている。同劇場のほかデトモルト歌劇場や、スイス・ハルウィルのオペラ音楽祭、ドイツ・ミンデンのリヒャルト・ワーグナー音楽祭などにも客演、ヨーロッパでの舞台歴はすでに600回を超えている。第24回五島記念文化賞オペラ新人賞、2021年度三菱地所賞ほか受賞多数。新国立劇場初登場。



【スザンナ】九嶋香奈枝(ソプラノ)**KUSHIMA Kanae**

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第4期修了。文化庁派遣在外研修員としてミラノに留学。2005年にはギリシャにてアテネ国立劇場開場記念公演『魔笛』(ミハエル・ハンペ演出)に招聘され出演。第54回全日本学生音楽コンクール第1位、HIMESコンクール第1位。東京二期会『魔笛』パバゲーナ、びわ湖ホール『死の都』ユリエッテ、PMFステージオペラ『ナクソスのアリアドネ』ナヤードなどに出演。新国立劇場では『愛の妙薬』ジャンネッタ、『フィガロの結婚』スザンナ、バルバリーナ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『パルジファル』小姓1、『ジークフリート』森の小鳥、『魔笛』パバゲーナ、『愛の妙薬』ジャンネッタ、『ペレアスとメリザンド』イニョルド、『ボリス・ゴドゥノフ』クセニア、『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナ、高校生のためのオペラ鑑賞教室『ドン・パスクワレ』ノリーナ、『魔笛』パミーナなどに出演。東京音楽大学非常勤講師。二期会会員。

**【ケルビーノ】山下裕賀(メゾソプラノ)****YAMASHITA Hiroka**

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程を首席修了。同大学院博士後期課程単位取得。武藤舞奨学金を得て、在学中にウィーンへ短期留学。2023年、第92回日本音楽コンクール声楽部門第1位および聴衆賞、第9回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞を受賞。これまでに日生劇場『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル、『カプレーティとモンテッキ』ロメオ、『セビリアの理髪師』ロジーナ、藤沢市民オペラ『ナブッコ』フェネーナなどに出演。最近では、24年藤原歌劇団『ラ・チェネレントラ』タイトルロールで絶賛されたほか、バーミンガム市交響楽団『蝶々夫人』スズキ、日生劇場『サンドリヨン』シャルマン王子、群馬交響楽団『カルメン』タイトルロール、京都市交響楽団『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラで好評を博す。コンサートでは、大野和士指揮・東京都交響楽団によるヤナーチェク『グラゴル・ミサ』、ドヴォルザーク『スターバト・マーテル』をはじめ、ベートーヴェン『第九』、ヴェルディ『レクイエム』、プロコフィエフ『アレクサンダー・ネフスキー』などでソリストを務める。新国立劇場へは25年『ナターシャ』アラトでデビューし、絶賛された。日本声楽アカデミー会員。

**【マルチェリーナ】中島郁子(メゾソプラノ)****NAKAJIMA Ikuko**

東京藝術大学卒業(安宅賞及び松田シヅ子賞受賞)、同大学院修了。キジアーナ音楽院修了。文化庁海外研修員として渡伊。これまでに東京二期会『ナブッコ』フェネーナ、『イル・トロヴァトーレ』アズチーナ、『蝶々夫人』スズキ、『修道女アンジェリカ』公爵夫人、『ジャンニ・スキッキ』ツィータ、日生劇場『セビリアの理髪師』ロジーナ、『メデア』ネリスなどに出演。『第九』や宗教曲、マーラーの交響曲でもソリストとして活躍している。新国立劇場では『カルメン』メルセデス、『ワルキューレ』シュヴェルトライテ、『ジャンニ・スキッキ』チェスカに出演。二期会会員。

**【バルトロ】妻屋秀和(バス)****TSUMAYA Hidekazu**

東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。1994～2001年ライプツィヒ歌劇場、02年～11年ワイマールのドイツ国民劇場専属歌手。これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、スコティッシュ・オペラなどに出演。欧州、日本でモーツァルト、ロッシーニ、ヴェルディ、プッチーニ、ワーグナー、R.シュトラウス等のオペラの主要な役を100役以上演じており、新国立劇場では『ラ・ボエーム』コッリーネ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『アイダ』ランフィス、『リゴレット』スparaフチャーレ、『ドン・カルロ』宗教裁判長/フィリッポ二世、『ラインの黄金』ファールツ、『魔笛』ザラストロ、『ルチア』ライモンド、『タンホイザー』領主ヘルマン、『トゥーランドット』ティムール、『夏の夜の夢』クインス、『イオランタ』ルネ、『ニュルンベルクのマイスタージנגー』ハンス・フォルツ、『さまよえるオランダ人』ダーラント、『ばらの騎士』オックス男爵、『ペレアスとメリザンド』アルケル、『夢遊病の女』ロドルフォ伯爵、『ウィリアム・テル』ジェスレル、『ヴォツェック』医者など出演多数。26/27シーズンは『フィガロの結婚』バルトロ、『サロメ』2人のナザレ人1、『ファルスタッフ』ピストーラ、『マクベス』バンクォーに出演予定。芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2024年紫綬褒章受章。

**【バジリオ】青地英幸(テノール)****AOCHI Hideyuki**

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。これまでに『魔笛』タミーノ、ロッシーニ『オテロ』ロドリゴ、『ロメオとジュリエット』ロメオ、『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『カルメン』ドン・ホセなどを演じている。宗教曲ソリストとしても活躍。新国立劇場では『おさん』『ホフマン物語』『ばらの騎士』『ムツェンスク郡のマクベス夫人』『サロメ』『ファルスタッフ』『ジャンニ・スキッキ』『夏の夜の夢』『フィガロの結婚』『夜鳴きうぐいす』『ボリス・ゴドゥノフ』『子どもと魔法』『こうもり』『トリスタンとイゾルデ』『ヴォツェック』『ジークフリート』ハイライトコンサートなど多数出演。本年1月『こうもり』プリント博士に出演。26/27シーズンは『フィガロの結婚』バジリオ、『ばらの騎士』料理屋の主人に出演予定。成城大学合唱部ヴォイストレーナー。公津の杜男声合唱団指導者。コールペガサス・ヴォイストレーナー。足利オペラ・リリカ専属アーティスト並びに研究科講師。武蔵野音楽大学講師。



【ドン・クルツィオ】水野 優(テノール)**MIZUNO Yu**

愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第19期修了、在籍中にはANAスカラシップ認定者として、ミラノ・スカラ座アカデミー、バイエルン州立歌劇場付属研修所(ドイツ・ミュンヘン)で研修を行う。日本演奏連盟「新進演奏家育成プロジェクトオーケストラシリーズ第17回」で円光寺雅彦指揮・名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。オペラでは『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランド、『イル・カンピエトロ』ドナ・カーテ、『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『フィガロの結婚』ドン・バジリオ/ドン・クルツィオ、『椿姫』アルフレード、ガストン等に出演。新国立劇場本公演のカヴァーとして『子どもと魔法』『こうもり』『椿姫』『魔笛』等に参加。『ジャンニ・スキッキ』グッチョ、『ウェルテル』ブリューマンに出演。高校生のためのオペラ鑑賞教室・ロームシアター京都公演『魔笛』僧侶Ⅱ・武士Ⅰに出演。

**【アントーニオ】晴 雅彦(バリトン)****HARE Masahiko**

大阪音楽大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員としてベルリンに留学。ケムニッツ市立歌劇場『魔笛』パパゲーノでヨーロッパ・デビュー後、同劇場『ヘンゼルとグレーテル』『ウィンザーの陽気な女房たち』、ザクセン州立歌劇場『蝶々夫人』ゴロー、ドイツ・ラインスベルク音楽祭、ヴァドステーナ音楽祭などに出演。『魔笛』パパゲーノなどでチョン・ミョンフンと共演。「プレミアム・シアター」「題名のない音楽会」に出演。新国立劇場では『フィガロの結婚』『ラ・ボエーム』『ニュルンベルクのマイスタージンガー』『運命の力』『ばらの騎士』『ルル』『夜叉ヶ池』『ホフマン物語』『魔笛』『蝶々夫人』、高校生のためのオペラ鑑賞教室『トスカ』などに出演。26/27 シーズンは『フィガロの結婚』アントーニオ、『トスカ』堂守、『ばらの騎士』公証人に出演予定。大阪芸術劇場奨励新人、大阪文化祭奨励賞、兵庫県芸術奨励賞、咲くやこの花賞を受賞。大阪音楽大学教授。



新国立劇場 2026/2027 シーズンオペラ

令和8年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

フィガロの結婚

Le Nozze di Figaro / Wolfgang Amadeus Mozart

全4幕〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】 2026年12月6日(日)14:00／8日(火)14:00／10日(木)18:00／12日(土)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】 S:28,600円・A:24,200円・B:17,050円・C:10,450円・D:7,150円・Z:1,980円

【前売開始】 2026年9月12日(土) 10:00～

指揮…………… 阪 哲朗
Conductor…………… BAN Tetsuro
演出…………… アンドレアス・ホモキ
Production…………… Andreas HOMOKI
美術…………… フランク・フィリップ・シュレスマン
Set Design…………… Frank Philipp SCHLÖSSMANN
衣裳…………… メヒトヒルト・ザイペル
Costume Design…………… Mechthild SEIPEL
照明…………… フランク・エヴァン
Lighting Design…………… Franck EVIN
再演演出…………… 上原真希
Revival Director…………… UEBARU Maki

アルマヴィーヴァ伯爵…………… 須藤慎吾
Il Conte Almaviva…………… SUDO Shingo
伯爵夫人…………… 吉田珠代
La Contessa…………… YOSHIDA Tamayo
フィガロ…………… 木村善明
Figaro…………… KIMURA Yoshiaki
スザンナ…………… 九嶋香奈枝
Susanna…………… KUSHIMA Kanae
ケルビーノ…………… 山下裕賀
Cherubino…………… YAMASHITA Hiroka
マルチェリーナ…………… 中島郁子
Marcellina…………… NAKAJIMA Ikuko
バルトロ…………… 妻屋秀和
Bartolo…………… TSUMAYA Hidekazu
バジリオ…………… 青地英幸
Basilio…………… AOCHI Hideyuki
ドン・クルツィオ…………… 水野 優
Don Curzio…………… MIZUNO Yu
アントーニオ…………… 晴 雅彦
Antonio…………… HARE Masahiko
バルバリーナ…………… 七澤 結
Barbarina…………… NANASAWA Yui
二人の娘…………… 岩本麻里、小酒部晶子
Due Fanciulle…………… IWAMOTO Mari
OSAKABE Akiko

合唱指揮…………… 平野桂子
Chorus Master…………… HIRANO Keiko
合唱…………… 新国立劇場合唱団
Chorus…………… New National Theatre Chorus
管弦楽…………… 東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra…………… Tokyo Philharmonic

芸術監督…………… 大野和士
Artistic Director…………… ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/lenozzedifigaro/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>

PRESS RELEASE

2026/2027 フィガロの結婚

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】



【11】



【12】

新国立劇場『フィガロの結婚』2013 年公演より 撮影:三枝近志